



こん よしふみ
今 喜史

職 名 専任講師

担当科目 経済政策論 I・II
日本経済論 金融論

- 研究テーマ**
- 貿易自由化による国内労働市場への影響に関する理論的分析
地域貿易協定などが締結されると、外国への輸出を拡大させる企業もありますが、逆に安い輸入品との競争のために縮小する企業も出てきます。このとき国内の賃金や失業率がどのように変化するのか、サーチ・マッチング理論という経済モデルを用いて研究しています。特に、情報技術などの進歩にともなっていわれる「省力化」投資が進むなか、サービス産業などで今後も安定的な雇用機会が保たれるのかに注目しています。
 - 国際資本移動と賃金の相互的作用に関する研究
製造業をはじめとして、多くの日本企業が拠点を外国に移転しています。こうした動きが続くと、国内の雇用が減り賃金も低下してしまうのではないのでしょうか。しかし一方で、企業が「安価な労働力」を求めて海外へ流出しているとすれば、国内の賃金が下がることで外国に立地する優位性も次第に失われ、再び日本へ回帰することも考えられます。資本の国際移動と賃金の関係について、理論的な研究と併せ、統計データを用いた実証分析を進めています。

研究業績

- 論文**
- 2008年 7月 “Liquidity Risk Aversion, Debt Maturity, and Current Account Surpluses: A Theory and Evidence from East Asia” (with Shin-ichi Fukuda), in T. Ito and A. Rose (eds.), *International Financial Issues in the Pacific Rim*, The University of Chicago Press, pp.39—64
- 2008年11月 “Equilibrium Unemployment in a Small Open Economy with a Frictionless Nontradeables Sector”, *Economics Bulletin*, vol.10 no.12, pp.1—9
- 2013年 3月 「サーチ・マッチング理論に基づく国際貿易と失業率の研究の展望」, 青山学院大学経済学会『青山経済論集』第64巻第4号, pp.179—215
- 2017年 3月 「九州地域における製造業の立地と雇用」, 益村真知子 (編著)『人口減少時代の地域雇用』九州大学出版会, pp.73—94
- 2017年12月 “A Note on Wage Inequality and Footloose Capital” (with Kyoko Hirose), 九州産業大学経済学会『エコノミクス』第22巻第2号, pp.69—84
- (ほか)

- 略 歴**
- 2005年 3月 東京大学 大学院経済学研究科 現代経済専攻 修士課程 修了 修士 (経済学)
- 2010年 3月 東京大学 大学院経済学研究科 現代経済専攻 博士課程 単位取得退学
- 2010年 4月 青山学院大学 経済学部 助教
- 2013年 4月 九州産業大学 経済学部 講師
- 2018年 4月 宇都宮共和大学 シティライフ学部 専任講師 (～現在に至る)
- (兼務)
- 2006年 8月 日本政策投資銀行 設備投資研究所 事務嘱託研究員 (2010年3月まで)
- 2016年 9月 九州国際大学 非常勤講師 (2018年3月まで)

所属学会 日本国際経済学会、日本金融学会

自己アピール 日本を訪れる外国人観光客の増加や日本企業の海外移転などが示すように、外国との経済的な結びつきが深まるにつれて経済環境は刻々と変化しています。現代社会の理解に少しでも貢献できるよう、経済学の研究を深めることによって、学生の皆さんとともに成長していきたいと思っています。

個人ホームページ <http://www.geocities.jp/ykonagu>